



第2250回例会 11月第1週 11月10日(日)

移動例会 新座市ボランティアまつり『ポリオ撲滅募金活動』 於:新座市役所駐車場

第2251回例会 11月第2週 11月14日(木)

通常例会 卓話 『R財団月間』に因んで 村上俊之R財団委員長

新座市ボランティアまつり『ポリオ撲滅募金活動』



ボランティアまつりに来場したお子様に、輪投げで楽しんで頂きお気に入りのお菓子をゲット。大人の皆様にポリオ撲滅募金にご協力をお願いしました。お陰様で大盛況でした。お集まり頂いた会員の皆様ありがとうございました。



司 会 親睦活動委員会 石原 勇介
点 鐘 会長 松岡 昌宏
ソ ン グ 「君が代」 「奉仕の理想」
唱 和 「四つのテスト」



会長の時間 会長 松岡 昌宏

皆様こんにちは。

11月第二週の通常例会となりました。今年もあと残すところ1ヶ月半となりました。

月日がたつのは早いもので、年内に残る大きなイベントも今月24日の地区大会と12月のクリスマス例会を残すのみとなりました。来月の月初には早くも年次総会がごぞいます。次年度へ向けてのスタートとなります。まだ道半ばではございますが来年もよろしくお願いします。

11月3日(日)に、鈴木幹事と東松山のスリーデーマーチに参加して参りました。例年は東松山ロータリークラブ単体の協賛で行っているようですが本年は第2570地区の旗振りでエンドポリオのブースも設け盛大に開催されておりました。日本3大マーチと呼ばれているようで規模の大きさももちろんですが、日本全国から参加者が来られていることに感心致しました。また市を挙げて歓待しているようで、東松山市役所から森林公園迄の道のりを往復するのですが、道程の至る所に「ようこそ東松山スリーデーマーチへ」の看板・のぼりがあり、東松山市の一体感が感じられるイベントでした。我々ロータリーのエンドポリオの活動にとっても良い宣伝となったのではないかと思います。

11月10日の日曜日は、新座ボランティア祭りが新座市役所駐車場で開催されました。多数のご参加ありがとうございます。お揃いの黄色いジャケットを羽織って、子供たちに無料で輪投げ遊びをさせながら、エンドポリオの募金活動をしました。まだまだ小さな活動ですが、私も地元なので知り合いから結構声をかけられ、新座ロータリークラブの活動の一端を説明する機会を得ることができました。小さな努力の積み重ねが大切なことと、感じる一日でした。

11月は「ロータリー財団月間」です。本日は村上R財団に委員長の卓話を頂戴します。一度初心に返って、ロータリー財団の理解と認識を深める一助になればと思います。村上委員長宜しく願い申しあげます。

11月24日(日)の地区大会ですが、参加予定者が少ないので、是非ご都合をつけてご参加頂きたいと思います。

今回は、エンドポリオの活動に絡めて、基調講演の講師に、コロナ対策委員長だった尾身 茂 先生を招いております。尾身先生は1990年から2009年まで20年間WHOに籍を置き、西太平洋地域におけるポリオ根絶を達成した世界的に知られる方です。実はエンドポリオの第一人者なのです。是非この機会に話を聴いて見たいと思っております。本日も宜しく願い申しあげます。

幹事報告 幹事 鈴木 明子

1、11月のRIレート 1ドル=153円

1、地区事務所より9件受信

1) ハイライトよねやま296号

2) 11月の「ロータリー財団月間」リソース

3) バギオだより105号

4) 地区ラーニング委員会よりRLI・Part IIの開催の案内

5) 地区大会にて上程する、地区会計規程・慶弔規程受信

6) ガバナー月信11月号

7) カルガリー国際大会 クレジットカード情報の送信方法についての案内

8) 世界ポリオデー・フォトコンテスト
応募締切り：11月24日まで

9) 第1回国際奉仕委員会国際奉仕セミナー
日時：11月30日(土) 13:30点鐘
場所：紫雲閣 1階 孔雀の間

1、第2グループ第3回会長幹事会の案内

日時：11月14日(木) 18時30分
場所：ピアザ☆ふじみ 2階多目的ホール
登録料：1,000円 懇親会会費：5,000円
会議終了後の懇親会：「シエモア」

1、新住所 〒359-1111 所沢市緑町4-1-18
スティプルイン203

電話 04-2926-8604 FAX 04-2926-0748

Mail info@te-rc.com

1、オペラ彩、オペレッタ「こうもり」の招待状

1、赤い羽根共同募金協力依頼

1、第9回 大江戸祭り協賛のお礼状

1、クラブ会報(志木・富士見)各RCより拝受

- 1、新座こぶしRCより12月例会案内拝受
1、朝霞RCより11月例会案内拝受

今月のお祝い



「吉原礼子会員お誕生月おめでとうございます」

会員誕生月：出浦恵子・吉原礼子 各会員
夫人誕生月：なし
結婚記念月：松岡昌宏・岡野元昭・宮川勝平
神谷浩一・神谷 稔・高橋遼太 各会員

委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 森田 輝雄

新座市ボランティアまつり ポリオ撲滅募金活動報告

11月10日(日)新座市役所駐車場で開催されました「ボランティアまつり」にご協力頂きありがとうございました。来場したお子様には無料で輪投げ遊びを入るまで楽しんで頂き、大人の方に善意の寄付をお願い申し上げましたところポリオ撲滅基金に12,000円集まりました。これに社会奉仕の予算をプラスして200ドルを送金します。

親睦活動委員会 委員長 石原 勇介

「会員親睦会」に奮ってご参加下さい

日時：11月28日(木) 19時～
場所：ベルセゾン ボヌール
登録料：5,000円

米山寄付金：10,000円 以上
R財団寄付金：100ドル(11月は15,300円)

スマイル報告

親睦活動委員会 委員 高橋 遼太

松岡 昌宏会員 村上俊之R財団委員長、本日は卓話宜しくお願いします。

鈴木 明子会員 村上委員長、R財団の卓話、宜しくお願いします。

吉原 礼子会員 村上さん、卓話よろしくお祈いします。今月は誕生月です。これからも元気に頑張っていきます。

村上 俊之会員 本日お時間いただきます。宜しくお願いいたします。

森田 輝雄会員 村上さん、本日宜しくお願いします。

宮川 勝平会員 村上R財団委員長、本日の卓話楽しみにしています。結婚記念月です。

森 克巳会員 村上さん、卓話宜しくお願いします。

岡野 元昭会員・増渕 和夫会員・並木 傑 会員

石原 勇介会員・高橋 遼太会員

『村上俊之R財団委員長、本日の卓話、楽しみにしております』

卓話 「R財団月間」に因んで

R財団委員長 村上 俊之



ロータリー財団委員会委員長の村上俊之です。今回の卓話にあたり、ロータリー財団についていろいろと学ばせて頂きました。長年ロータリーに携われている方にはいまさら感もあるかと思いますが、ぜひ再確認の機会にして頂ければと存じます。また、入会歴の浅い方には何らかの学びの機会になって頂ければ幸いです。

本日のテーマは、①ロータリー財団について
②寄付金の使途について、③具体的活動について

の3点となります。

まず、ロータリー財団についてお話しさせていただきます。

ロータリー財団は、国際ロータリーのロータリー財団というのが正式名称です。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人にとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団は、みなさまからの寄付金のみによって運営されております。その財源は、年次基金、恒久基金、使途指定寄付がございます。年次基金は投資され3年後に全額が財源となります。恒久基金は、全額積み立てられ、その収益部分が財源となります。クラブ寄付として年次基金は50ドル以上、恒久基金は30ドル以上、使途指定寄付は30ドル以上の寄付をお願いしています。このクラブ寄付とは別に、個人寄付として100ドル以上の年次基金への寄付をお願いしています。みなさまからご寄付いただいた100ドルについては、年次基金として、全額3年後の活動資金となるということです。

続いて、この寄付いただいた金額がどのように使われているかをご説明いたします。

まず、先ほどの年次基金と恒久基金の収益部分の合算額が活動資金の原資となります。そして、財源の合計額のうち、5%が運営費に回り、残りを按分して47.5%ずつが、国際財団活動資金と地区財団活動資金として割り当てられます。

国際財団活動資金は、海外クラブと地区が計画するグローバル補助金事業、持続可能で長期的な国際プロジェクトに用いられております。

地区財団活動資金は、地区補助金として、国内外の地域社会のニーズに取り組む、比較的規模の小さい短期の活動を支援するために用いられます。この地区補助金については、また後ほど具体例を挙げてご説明させていただきます。

ここでロータリー財団の規模感を実感するために、具体的な金額をご紹介します。2022年度から2023年度のデータですが、ロータリー財団への総寄付額は4億2790万ドル（650億円）となります。そして、ポリオプラスに1億5700万ドル（235億円）、グローバル補助金に5500万ドル（80億円）、地区補助金に2600万ドル（40億円）が支出されています。これらが毎年支出されるわけですから、社会への影響は大きなものになるといえます。

最後に具体的活動として、地区補助金についてご説明いたします。

本年度の地区補助金の申請例としては、近隣クラブでは、朝霞ロータリークラブ「ミニバスケットボール大会の開催（教育カテゴリー）」で1200ドル、富士見ロータリークラブ「すわの森緑の散歩道整備事業（地域社会発展カテゴリー）」で1200ドル、和光ロータリークラブ「停留所ベンチ贈呈（地域社会発展カテゴリー）」で1080ドルなどがございます。

他にも「ひとり親世帯に飲食物やテスト代を補助」「各種のスポーツ大会」「小中学校等に対し図書や備品の贈呈」などで活用されております。

新座ロータリークラブの招待親子ボウリングも地区補助金が活用できると思われます。しっかりと活用していければ望ましいと考えております。結びとなりますが、ロータリー会員は、会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援することとなります。

一人の個人やそれぞれのクラブでできることは自ずから限界が生じます。それが世界規模で一致団結することでより大きなことを成し遂げることへとつながるのです。

そして、新座ロータリークラブとしては、ぜひ地区補助金を活用し、この地域をよりよい地域にしていく一助になれば幸いです。



<http://www.niiza-rc.jp>

新座ロータリークラブ事務局

〒352-0001 新座市東北2-25-11-406

電話 048 (473)7041

FAX 048 (473)9221

Eメール niiza.rc@dance.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 新座ロータリークラブ